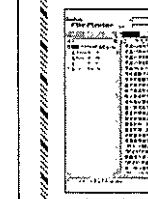
純国産検索エンジン登場

インデックス肥大化に圧縮技術で対応

オプティマ　Jieks　①


FileFinder の検索結果画面

オプティマが提供する「Jieks」は、グローバルコミュニケーションズが開発した「純国産の検索エンジン」だ。全文検索とデータベースの両機能を併せ持ち、海外の有名検索エンジンに負けない高速性を実現している。

検索方式には、文字の並びでインデックスを作成するN－gram方式を採用している。この方式の場合、単語辞書登録が必要なく、検索もれが少ないという特長を有するが、一方でインデックスが肥大化するという課題を抱えている。

オプティマの音無紀彦取締役によると「インデックス肥大の課題は、独自開発の圧縮技術で解決した」としている。そのため、データベースの肥大化による過度なハードの拡張が抑えられる。

更に全文検索とデータベースを併せ持つため、複雑な検索条件の指定や並び順の指定も可能となっている。フィールドごとにインデックスが設定でき、例えば日付や社名、住所、資本金などが記述された文書から日付検索や社名検索、住所検索などフィールドごとの検索を行うことも可能だ。

そのインデックス作りも自動化されており、データをデータベースにアップすると、すぐに検索に反映されることから、リアルタイム性が求められるWebサイトの検索エンジンとしても有効な働きをする。

例えばポータルサイトのブログ検索では、ブロガーがブログをアップしても、それがブログ検索にすぐに反映されなければアクセスにつながらずブロガーにとっても利用者にとっても不本意な結果となる。いかに素早くブログ検索に反映させるかが、ブロガーや利用者の満足度につながる。

この課題を解決できるJieksは、すでに大手ポータルサイトのブログ検索に採用実績があり、その実力をいかんなく発揮している。この実力が認められて、このサイトでは、ブログ検索だけでなく他のサービスの検索エンジンにも次々と採用していったという。

デスクトップ仮想化戦略一トを行っていく。

一する製品で、NTTデー一幅増員や、ユーザーの稼一くとしている。

一NECのクラウド分野に